

## 戦争させない市民の風総会議事録 (要約)

日時：2017年8月27日14時00分から

場所：北海道クリスチャンセンター2階ホール

出席者数：50名

1. 議長の選任 高松修二 開会を宣言。
2. 川原茂雄共同代表から「これまでの取り組みと到達点」について報告  
○質問者なし
3. 川原茂雄共同代表から「今後の活動方針の提起」  
○質疑

A)

### 民進党代表選挙と「共闘」の行方

- ・民進党の代表選挙の争点の一つが「共闘」であるが、それについてどう思うか。

<川原>

- ・代表選挙の結果にかかわらず、北海道の12の選挙区で、市民と野党の共闘を作り、統一候補の実現をめざす。

中央の動きにあまり左右されることなく、地道に着実にしっかり取り組んでいく。

その姿を民進党北海道や中央に見せていくということが大事。

B)

### 活動の情報が伝わっていない

- ・4区で、手稲では活動が盛んだが、小樽、余市と、地方に行くにしたがって、そこまではいっていない。札幌での活動が伝わっていない。
- ・市民の風のメーリングリストに入っていないと、情報が流れない。
- ・メーリングリストの情報を個人的に広めてもいいか。
- ・風に入っていない人に、広めていく方法はないか。

<川原>

- ・4区だけの問題ではなく、各区は広く、各区の中のブロック同士の連携がとれていない。ブロック同士の交流・連携に力を入れる必要がある。
- ・各区の会と市民の風は、基本的には対等・平等だが、有機的な連関を図る必要がある。情報という点では、できるだけ市民の風に入ってもらい、メーリングリストに入ってもらいたい。

<小林>

- ・メーリングリストに流れた情報をよそに流していいかどうか、「転送可」「転送希望」あるいは「転送不可」を明記すると分かりやすいが、事務局会議で検討してその結果

を報告したい。

- ・各区での取り組みに対する風の会員の関わりはそれほど多くない。新しく会員を募って、一緒に地元での活動を市民の風のメンバーとしてもできるような厚み、底力を作りたいという気持ちで資料に入会申込書を入れている。
- ・今、市民の風の新しいリーフレットを準備をしているので、活用してほしい。
- ・メーリングリストだけでなくフェイスブック、ホームページ、ツイッターの担当もいるがアクセス数が多くない。アクセスしてほしい。

C)

#### **国民投票に対する備えが必要**

- ・活動方針を具体化して計画を立ててやっていかないと、国民投票には間に合わない。
- ・働く成人の男性を中心に組織票で自民党にがっちり固められている中、どう食い込んでいくのかを考えなければならない。

#### **武力等に関する共通認識を作る必要がある**

- ・本当に武力を持たないのか、自衛権はどうか、交戦権はどうか、整理して共通認識を作らないとならない。

<川原>

- ・改憲問題に対する広範な国民運動を作っていく必要がある。
- ・防衛問題・安保問題・原発など、共闘するにあたって意見の分かれる部分について範囲を広げていくと違いも出てくる。まずは共闘できる合意点を一つ一つ確認し、それを少しずつ広げてゆくという運動の形が大事ではないかと事務局では考えている。

D)

#### **共同街宣時の旗の数。外から見たビジュアルを考えよう**

- ・国会議員からの助言。共同街宣時、各党の旗の数に気をくばり、間に入っている市民の風の旗も立て、どの党とどの党と一緒にやっているのか、ビジュアル的に分かるようにしてもらえるとよい。

#### **国民投票部のようなものを作ってほしい**

- ・国民投票の勉強会を主催してみて、憲法9条の問題、自衛の戦争をするのかしないのかというのは、意見がまとまらないということが分かった。
- ・国民投票法は資金がある側に有利なようにできている。改正が必要。この運動を野党共闘と同じくらいのウエイトで取り組んでほしい。

一年以内に総選挙か国民投票かどちらかが必ず来る。国民投票部というのを作ってもらえたら入りたい。

市民の風の中で問題を考える場の講師の中に加えてほしい。

<川原>

- ・旗の数についてしっかり対応していきたい。

- ・10月に本間龍さんを講師に呼んで、国民投票についての学習会をやる。
- ・国民投票部ということになるかどうかは分からないが、何らかの形で位置付け、改憲問題、国民投票問題にしっかりと取り組んでいきたい。

E)

#### 無党派層、無関心層、無投票層への呼びかけをどうやっていくか

- ・無党派層、無関心層、無投票層への呼びかけが、スローガンに終わるのではという危機感がある。
- ・ライブ隊。どうやったら道行く人の興味関心を引くことができるか、色々研究をしながら常に市民の風の隊列を拓けるということを念頭において練っていききたい。
- ・自分の目の黒いうちに戦争をさせたくないという気持ちがある年齢層にどう訴えていくのかということをする必要がある。
- ・そして若い人たちとの接点をどう作るか、というのを考えていきたい。

○議長が活動報告と活動方針について承認を全員に諮り、拍手により全員異議なくこれを承認し、本案は可決。(ここまでの時間 50 分)

#### 4. 会計担当 (佐々木) から会計報告

○会計監査担当 (小泉) が、8月18日に地域労組の事務局で監査を行った旨、決算に誤りがない旨報告。

○議長が承認を全員に諮り、拍手により全員異議なくこれを承認し、本案は可決。

○質疑

F)

#### メディアに広告を出すなどしてほしい

- ・次年度繰越金がけっこう多い。総選挙、ならびに国民投票にむけて例えばメディアに広告を出すなどしてもらいたい。

<川原>

繰越金は多くない。会費が確実に入るかどうかがあいまいな団体である。会員を増やしカンパなどが入る見通しが立てばメディアへの広告なども考えたい。

<小林>

今やっと90万貯めている。選挙になったときに市民が自由にチラシを作って配れる条件が第3種郵便物の取得。その資格を取るときに、郵便局に40万円を預けることが必要。実質はなかなかキツイ。引き続き賛同金・カンパをお願いしたい。

G)

(支出の「横断幕」の内容についての質問があり、小林さんが回答)

## 5. 川原共同代表から新体制案について提案

○質疑

H)

**役員会等に関して、規約を明確にしてほしい**

- ・規約に事務局次長という文言がない。
- ・役員会の内容が明確でない。
- ・今度役員会をやるときにどこまでのレベルでやるのか。

<小林>

共同代表4人と事務局長の5人で従来どおり役員会を開く。

事務をやっていくうえで事務局次長が事務局長の仕事を分担してやっていく

次の定期総会の時には、規約の整理を含めて提案をする。

○議長が承認を全員に諮り、拍手により全員異議なくこれを承認し、本案は可決。

## 6. 議長解任

○議長は、以上をもって総会に関するすべての議事を終了した旨を述べ、15時8分に閉会を宣言。

2017.9.7 井上作成